

町政



幅田千富美

安心してくららせる伯耆町

総合計画・財政計画で検討

幅田 先の総選挙で圧勝した自民党政治の暴走を心配する声が広がっている。

これ迄の構造改革はあ

げて農村や弱者切り捨ての政治、その上に、憲法、税制改悪が提案されようとしている。地域住民を守る立場から町長の見解は。

町長 変革期の仕組み改

革でさけてとおれず、支持があつたものと認めざるを得ない。私の思いは地方の声が届きにくく、いかがなものか。

幅田 県の人権救済条例は人権の名で人権を蹂躪するものとの県内外から批判が多い。弁護士協会からも協力できないとしている。凍結求めたいが。

幅田 税制改正にともない、これ迄の非課税者も課税者となり大幅に負担がふえるが十八年度実施の町民への影響は。

町長 六十五歳以上高齢者の税負担がふえてくる。インフルエンザ予防接種、介護保険料、国保保険料、福祉施設利用料等が考えられる。

② 障害者自立支援法に基づく特別医療費の助成を守る。

見直しで国で行われ、憲法改正にあわせて「戦争しない国」から「戦争する国」に転換されようとしている。委員長の見解は。

④ 学校給食センターは民間委託でなく、食育、食農教育推進の立場から学校関係者、知識人、生産者など住民参加の検討委員会の設置。

教育委員長 今、なぜ見直しが必要なのかから社会が大きく変わった根本にさかのぼって改革が必要というが、基本法に記さねば実現できない施策があるか、理解に苦しむ。

行財政改革は福祉・教育守るためにこそ！

幅田 改革プラン示されたがムダを削って福祉・教育守るものとなっていない。

分校・寄宿舎廃止、諸

手数料引き上げ、住民検診も集落に出むいたものから岸本に集中して行う計画で過疎地域を切りすてるものになっている。

合併直後のサービス低下の上に更なる負担は許されない。美術館運営などこそ見直すべきだ。

財政が苦しいというなら三役・議会が報酬引き下げなど具体的に示して職員、町民に協力求めるべきだ。「小さな政府」という

が公務員は住民サービスそのものである。先進国の公務員と比べ日本は半分以下である。

現場の声を十分すいあげきびしい中にも職員・

町民・議会一致して進めるものに見直すべきだ。そのためには、
① 早期発見、早期治療健康づくりの住民検診、人間ドックの充実。

⑤ 安心ある子ども達の通学体制の見直し。

⑥ こしき・あさひ保育所は未満児で保育室があふれている。希望者も入れない、緊急に体制を整備し安心の保育体制など前倒しして実現が大切と思うが。

町長 総合計画と財政計画で示したい。

行政改革には全力で取り組むたい。

幅田 教育基本法の



介護サービス